

地域保健

1

2018

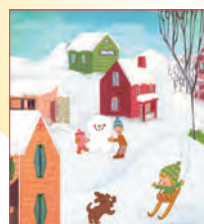
●新春座談会 1

精神障害にも対応した
地域包括ケアシステムに保健師はどう関わるか

●新春座談会 2

第三期の特定健診・保健指導に備える PART・2
—アウトソーシングに着目して





《表紙イラスト》
山本まもる

パパの作ってくれたソリは、最高だよ。よく滑るね。今度はブクが乗ってたがってるよ。

6

【新春座談会 1】

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに保健師はどう関わるか



【出席者】

中板育美さん（日本看護協会）＝司会

高桑友美さん（岡山県保健福祉部）

浅沼奈美さん（杏林大学保健学部）

長野敏弘さん（御荘診療所、ハート in ハートなんぐん市場）

28

【新春座談会 2】

第三期の特定健診・保健指導に備える アウトソーシングに着目して

PART・2



【出席者】

加藤典子さん（厚生労働省健康局）＝司会

津下一代さん（あいち健康の森健康科学総合センター）

石黒美佳子さん（蒲郡市市民福祉部）

藤田あけみさん（袋井市健康づくり課）

② ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！▶ 塚本加奈子さん（茨城県土浦保健所 健康増進課）

⑤4 ピー プ ル ▶ 安部敏樹さん（一般社団法人 リディラバ 代表理事）

⑤8 レ ポ ー ト ▶ 第1回小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会

⑥0 N E W S ▶ 平成29年度保健師活動領域調査（領域調査）

⑥4 F O C U S ▶ 認知症、閉じこもりを防ぐソーシャル・ウォーキング®とは

⑧0 理解して生かす保健師用語 ▶ リスクコミュニケーション

⑨0 情 報 B O X

⑨4 総 合 目 録

⑨6 次号予告／奥付

連 載

⑤0 保健師のセルフケアに役立つ自然療法《第5回》／今 知美

⑤2 ESSAY 国際保健《第23回》／松田正己

⑦0 保健師とは《第5回》／佐々木亮平、岩室紳也

⑦4 笑う門には福来る《第5回》／大道芸人たつきゅうさん

⑦6 保健師のための閑話ケア《第74回》／藤本裕明

⑧2 中臣さんの環境衛生ウォッチング《第59回》／中臣昌広

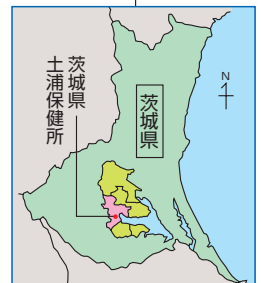
⑧6 言葉と発達 いまどき子育てアドバイス《第233回》／中川信子



塚本加奈子さん

茨城県土浦保健所 健康増進課

保健師は、人間として成長できる仕事。
根拠のある保健活動ができ、
行動力のある保健師になっていきたい。



土浦市、石岡市、
すみがうら市、阿見
町、美浦村を管轄

霞ヶ浦総合公園のシンボル、風車の前で。展望台からは霞ヶ浦を一望できる

文：太田美由紀（ライター） 写真：カミヤス セイ

新春座談会

1

精神障害にも対応した

地域包括ケアシステムに

保健師はどう関わるか



◆ 御荘診療所、ハートinハートなんぐん市場

長野敏宏さん



◆ 日本看護協会

中板育美さん



司会

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の話題の中心は、今のところ地域移行だ。また、専門職では精神保健福祉士の姿が目立ち、保健師の動きは見えにくい。精神の地域包括ケアは今後、どのような方向を目指していくのか。保健師はどんな役割を期待されているのか。

座談会では、地域づくりに携わる精神科医、精神保健の教育・研究者、現場の保健師に出席していただき、このテーマのあるべき方向と、保健師の関わり方について論じてもらった。
司会は日本看護協会常任理事の中板育美さん。

◆ 杏林大学保健学部

浅沼奈美さん



◆ 岡山県保健福祉部

高桑友美さん



第三期の 特定健診・保健指導に 備える

〈PART・2〉

アウトソーシングに着目して

前号（2017年11月号）に続く、第三期の特定健診・保健指導に向けた座談会の第二弾。前号では、特定保健指導の実施率が高く、特定健診・保健指導を直営で行っている自治体に焦点を当てた。今月号では、アウトソーシングをうまく活用して効果を出している自治体に着目する。司会は加藤典子さん（厚生労働省、コメンテーターは津下一代さん（あいち健康の森健康科学総合センター））。



◆厚生労働省健康局

加藤典子
さん

司会



◆あいち健康の森健康科学総合センター

津下一代
さん



◆蒲郡市市民福祉部

石黒美佳子
さん



◆袋井市健康づくり課

藤田あけみ
さん



安部敏樹

さん

●一般社団法人リディラバ代表理事

社会問題の解決には、無関心を打破すること

「社会問題に対する無関心をなくす」というミッションのもと活動を続ける、一般社団法人リディラバ代表の安部敏樹さん。問題の解決には社会全体の意識を高めることが重要と、スタディツアーなどの事業を展開している。社会起業家の風雲児とも呼ばれ、現在も東大で教鞭を取りながら博士課程にも在籍している安部さんに、これまでの経緯や今後の展望を語ってもらった。

●聞き手……………白井美樹（ライター）

—社会の無関心を打破するというテーマを扱うようになったきっかけは？

安部 僕は、中学時代に不登校になり、グレして横浜駅付近などで路上生活に近いような日々を送っていました。学校に行っているべき時間帯に、仲間と道端に座っているも、目の前を通り過ぎる大人たちは、僕らにまったく声をかけたりはしませんでした。そんな、社会全体の無関心って「嫌だな」と、その頃から感じていたのです。

—でも、やがて東大に入学されましたね。

安部 中・高時代は、勉強したいと思うような動機づけが見出せませんでした。中学はほとんど学校に通っていませんし、授業に出ても、「ウザイ先生がウザイ話をしている」くらいの感覚でした。なので、まったく学力がなくて、高校時代はいつも仮進級でしたし、成績は学年でビリでした。

でも、高3になった春に、ある転機が訪れました。当時『ドラゴン桜』という漫画が流行っていて、そのストーリーのごとく、落ちこぼれだった僕を東大に合格させようというプロジェクトを同級生たちが立ち上

げてくれたのです。久々に周りから関心を持たれたことがうれしくて、期待に応えるために必死で勉強するようになりました。

—東大に入学して、まずどんなことをされましたか。

安部 ドラゴン桜は入学までは導いてくれましたが、入学後のことは教えてくれませんでした。そこで、今度は『ワンピース』を読んで、「海賊王になろう!」と思っただけです。具体的には、オーストラリアやギリシャでマグロを漁る仕事をしていま

特 集

「子どもの貧困と健康問題」

◎子どもの貧困と健康問題

藤原武男（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科）

◎生活困窮家庭の子どもの食生活

村山伸子（新潟県立大学 人間生活学部）

◎「口腔崩壊」を起こすデンタルネグレクト

香西克之（広島大学大学院 医歯薬学総合研究科）

◎学校保健の現場で何が起きている？

秋山千佳（ノンフィクション作家）

◎小児医療の現場からの提言

和田 浩（社会医療法人健和会 健和会病院）

◎行政に望むこと

徳丸ゆき子（大阪子どもの貧困アクショングループ CPAO）

◎【取り組み事例】 東京都足立区の取り組み

馬場優子（足立区 衛生部 こころとからだの健康づくり課）

◎【取り組み事例】 埼玉県上尾市の取り組み

藤田恭子（上尾市 健康福祉部 生活支援課）

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！ 田牧千佳さん（飯綱町役場保健福祉課）

ピープル

番場さち子さん（一般社団法人ベテランママの会代表理事）

レポート

第6回日本公衆衛生看護学会学術集会

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地 域 保 健

平成30年1月号

平成30年1月1日発行／隔月（奇数月）1回1日発行

発行人 菅 国典

制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-22

株式会社 東京法規出版

振替 00160-1-371595

【購読の申し込み】

TEL 03-5977-0300

FAX 03-5977-0385

ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】

TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン＝新海妙子

◎印刷・製本＝（株）上野印刷所

◎編集長＝須賀健次

◎編集員＝井戸倫子

本誌に掲載された著作物の
複写・転載等の許諾権は、
株式会社東京法規出版が保
有しています。

バックナンバー紹介

2016 年 11 月号

特集1「事例検討会を効果的に進める」

日本看護協会が開発した事例検討会の手法を中心に、効果的な事例検討会の進め方の解説をはじめ、参考となる取り組み事例などをまとめる。

特集2「私のターニングポイント」

保健師が成長するプロセスでは、さまざまな出来事や人との出会いがある。ベテラン保健師の方々に、保健師としての転換期（ターニングポイント）を軸に、自らの保健師のキャリアを振り返っていただく。

2017 年 1 月号【在庫切れ】

新春座談会「児童福祉法等の改正と今後の保健師活動」

新たな制度下において、保健師が児童虐待予防に関わるのかを議題としながら、今後の母子保健の在り方や保健師のアイデンティティーなどを描き出す。

特集「災害関連死を未然に防ぐ」

避難生活の長期化により持病が悪化し死亡するなど、災害関連死に結び付きやすい事柄について、被災者の支援に当たっている医師、歯科医師が解説する。

2017 年 3 月号【在庫切れ】

座談会「これからの地域保健と地域福祉 ～地域共生社会における『保健』の役割を考える」

公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らす「地域共生社会」は保健福祉改革を貫く基本コンセプト。この動きに「保健」はどう絡んでいくか。

特集「高齢者虐待への対応

～介護家族への支援に焦点を当てて」

老老介護も珍しくなくなった今日、介護家族の支援に焦点を当て、支援の重要性を説くとともに介入方法を紹介する。

お申し込みは

(株) 東京法規出版 地域保健編集部
FAX : 03-5977-0385

2017 年 5 月号

特集「保健師業務の認知度を高める」

第1部の座談会では保健師業務を理解してもらうための方策を議論。第2部は他職種の専門家から保健師への期待と提言。保健師の目と他職種の目で、保健師のアピール方法を浮き彫りにする。

2017 年 7 月号

特集1「高齢者のフレイル対策」

注目を浴びる高齢者のフレイルについて厚生労働省や学識経験者の解説をはじめ、自治体の先行事例を紹介する。

特集2「自治体のストレスチェック制度と保健師の役割」

自治体の職場においても心の病による長期休業者が増えるなか、保健師がストレスチェック制度で押さえるべきポイントと取り組みの好事例を紹介。

2017 年 9 月号

特集1「医療的ケア児を支援する」

医療的ケア児の抱える問題や国の施策について解説するほか、自治体の保健師の役割について事例を中心に紹介する。

特集2「乳幼児の予防接種へのサポート」

意外と受け忘れや誤接種が多いのが予防接種。啓発の重要性を説くとともに、自治体の取り組み事例を紹介。ロタウイルス感染症の最新情報も。

2017 年 11 月号

座談会「第三期の特定健診・保健指導に備える PART1」

直営で市町村国保の特定保健指導実施率の目標を達成した2市の保健師が出席。保健指導実施率を高めたと秘けつと今後の課題を聞く。

特集「多職種で取り組む災害時の食支援」

避難所で配られる食事は高齢者などには向いていないものも多くある。災害食支援の専門家が立場からアドバイス。

※バックナンバーの価格

(2016 年 3 月号まで) 925 円 (税込) + 送料 151 円、
(2016 年 5 月号から) 1,480 円 + 送料 151 円

『地域保健』購読のご案内

- 年6回、隔月〔奇数月〕1日発行
- B5判、総100頁（本文96頁、表紙4頁）
- 価 格 1冊あたり 1,480円（税込）、送料151円
年間購読 《公費前納および個人》7,990円（税込、送料弊社負担）
年間購読 《公費後納》8,878円（税込、送料弊社負担）

※書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>